

取扱説明書

POWERFUL REIFU

パワフル冷風機
MPR120

 **WAKITA & CO.,LTD.**

はじめに

このたび当社製品パワフル冷風機をお買い上げ頂き誠に有難うございます。

まず、次の点を確認して下さい。

- 機種は、御注文通りのものかどうか…
- 輸送中の事故で、破損していないかどうか…
- 付属品が全部そろっているかどうか…

もし、不具合な点がありましたら、製造番号と共に購入店または弊社支店・営業所へお知らせください。

**本機は冷風を室内に送り込む機械です。
他の目的で使用される時は弊社営業所に問い合わせして下さい。**

製品は取り扱いを誤ると、事故や故障の原因になります。

ご使用前に本書を最後まで熟読して下さい。10分あれば読めます。

- 冷風機についてよくご存じの方でも、この製品独自の取り扱い方法がありますので必ずお読みいただいたうえでご使用下さい。
- 本書では、製品の正しい取り扱い方法や簡単な手入れ方法について記載してあります。
- 不明のところは製品の購入店または弊社支店・営業所におたずね下さい。

なお、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご了承ください。

※製品を譲られる場合は、次の運転者のために本書と一緒にお渡し下さい。

目次

安全に関する表示

第1章 安全作業のために	1
安全上の基本的注意事項	1
第2章 各部の名称と仕様	5
2-1 外観	5
2-2 コントロールパネル、リモコン	6
第3章 各部の取扱い	7
3-1 コントロールパネル	7
3-2 リモコン	8
第4章 運転の前に	9
4-1 設置	9
4-2 給水	10
第5章 運転	11
第6章 停止	12
第7章 保守、点検	13
7-1 冷却エレメントの清掃	13
7-2 フィルターの清掃	13
7-3 タンクの洗浄	14
7-4 カバーの清掃	14
7-5 ヒューズの交換	14
第8章 保管	16
第9章 トラブルシューティング	17
第10章 配線図	18

安全に関する表示

安全規則を守らない作業は重大事故の発生につながります。

製品の運転や日常点検の前には、必ずこの取扱説明書をよく読み、十分に理解して下さい。

本書及び統制品で使用する安全に関する表示は、その内容や危険の度合いにより次のように使い分けてあります。

▲ 危 険

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る切迫した危険が存在していることを示します。
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

▲ 警 告

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る可能性のある危険が存在していることを示します。
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

▲ 注 意

人身事故もしくは製品の重大な破損に至る可能性のある危険が存在していることを示します。
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

重 要

製品の損傷や著しい性能低下を招く可能性のあることを示します。
メッセージには、それらを回避するために守らなければならない注意事項が示されています。

当社では、あらゆる環境下における作業において起こりうるすべての危険を予測することはできません。したがって、本書に記載されている注意事項はすべてを網羅したものではありませんので、お客様の責任において、十分な注意を払って製品をご使用頂くようお願いいたします。

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing.

第1章 安全作業のために

安全上の基本的注意事項

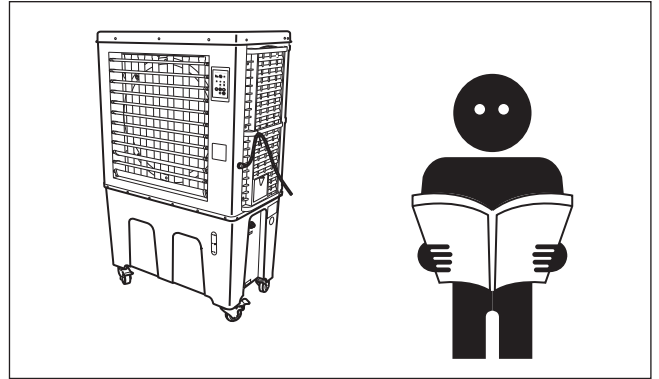
一般事項

安全運転のために、次のことがらを必ず守って下さい。

1. 取扱説明書を読む

⚠ 警告

- 取扱説明書を良く読み理解するまで運転しないでください。誤った方法による運転操作は非常に危険であり人身事故を起こす原因になります。
- 取扱説明書は常に保管し、本製品を取扱うすべての人が繰り返し読むようにして下さい。
- 子供や説明をうけていない大人に運転させない様、注意して下さい。



2. 指定用途以外に使用しない

⚠ 警告

- 故障の恐れがありますので「塵埃」などを吸わさないで下さい。
- 指定の用途以外でご使用になる場合は事前に弊社にご相談下さい。

3. ファン等の回転部への巻き込まれに注意

⚠ 警告

- ファン等の可動部に、手や衣類などを近づけないようにして下さい。
- 冷却エレメントの脱着をする時は必ずスイッチを切りファンの回転が停止していることを確認してから行って下さい。



4. 適切な環境・状態で使用する

⚠ 警 告

- 爆発性の粉塵・酸・アルカリなどの腐食性ガスが発生、または発生の恐れのある場所、引火性、可燃性ガスがある場所で使用しないで下さい。
- 氷結するような場所では使用しないで下さい。
- 塵・埃の少ない場所で使用して下さい。
- 本体が安定するよう、設置する面に凹凸がなく、振動の影響を受けにくい場所に設置して下さい。
- 周辺に吸入されやすい物がなく、ファンの吸気を妨げる物がない場所に設置して下さい。
- タンクの水量は常に点検して下さい。
- フィルターは常に清潔し、清潔に保って下さい。
- 使用する水は、水道水を使用して下さい。汚れた水を使用しないで下さい。
- 冷風機の風下に火を使う電化製品をおかないで下さい。一酸化炭素が発生する恐れがあります。

5. 運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時は停止する

⚠ 警 告

- 運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時はただちに運転を停止して、電源の接続を外し、弊社またはお買い上げの販売店にご相談ください。故障と思われる場合でも本体を分解したりしないで下さい。感電・火災及びけがの原因になります。

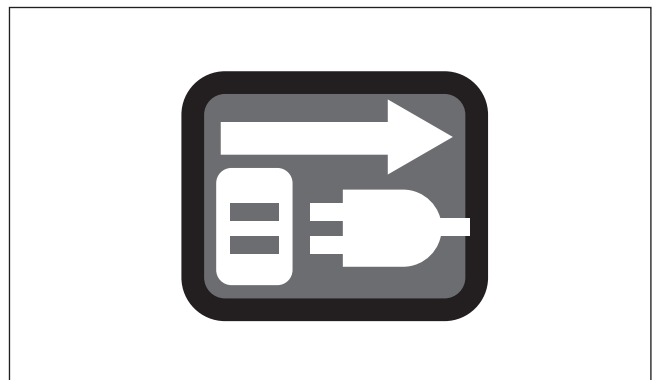
6. 保守・点検・手入れの前には電源を外す

⚠ 警 告

- お手入れの前には必ずスイッチを切り、電源プラグを抜きファンの回転が停止していることを確認して下さい。
- 電源をいれたまま分解・清掃すると、誤ってスイッチに触れモーターが回転しけがをします。
- 使用しない時や停電時は電源プラグを抜いて下さい。

⚠ 注 意

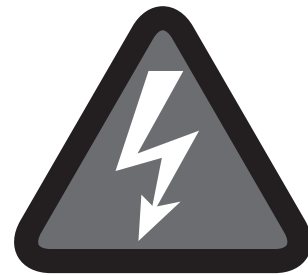
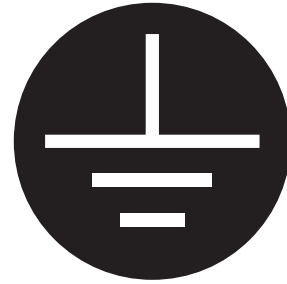
- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター、冷却エレメントを掃除して下さい。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用して下さい。
(清掃時は必ず電源を抜いた状態で行って下さい。)



7. 感電に注意する

⚠ 警 告

- 確実にアースを設置して下さい。
- 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは必ずプラグをもって抜いて下さい。コードを持って抜かないで下さい。ショートをする恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、曲げたり、強く引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。電源コードの上に重いものを乗せないで下さい。電源コードが劣化していたり、絡まったり、損傷している場合は使用しないで下さい。



8. 運搬時の注意

⚠ 警 告

- 運搬時には必ずタンク内の水を抜き「空」の状態にして下さい。

9. 保管について

⚠ 注 意

- 長期間保管する時はタンク内の水を抜き、冷却エレメントをよく乾燥して下さい。
- 冷却エレメントの乾燥は送風モードで、1時間以上運転すれば冷却エレメントを乾燥することができます。
(タンク内に水を入れたまま保管すると故障の原因になります。)
- 長期間にわたり保管される場合は温度変化の少ない乾燥した場所で保管して下さい。
- 本体に異物が侵入しないようにカバー等で覆って下さい。



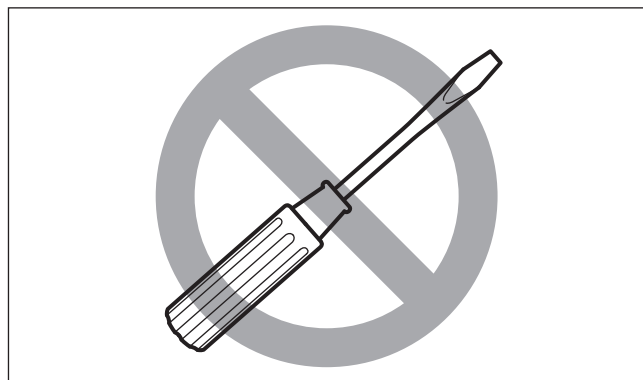
10. その他

⚠ 注 意

- コンセントから接続する場合は IEC33-1 に準拠したコンセントを使用して下さい。

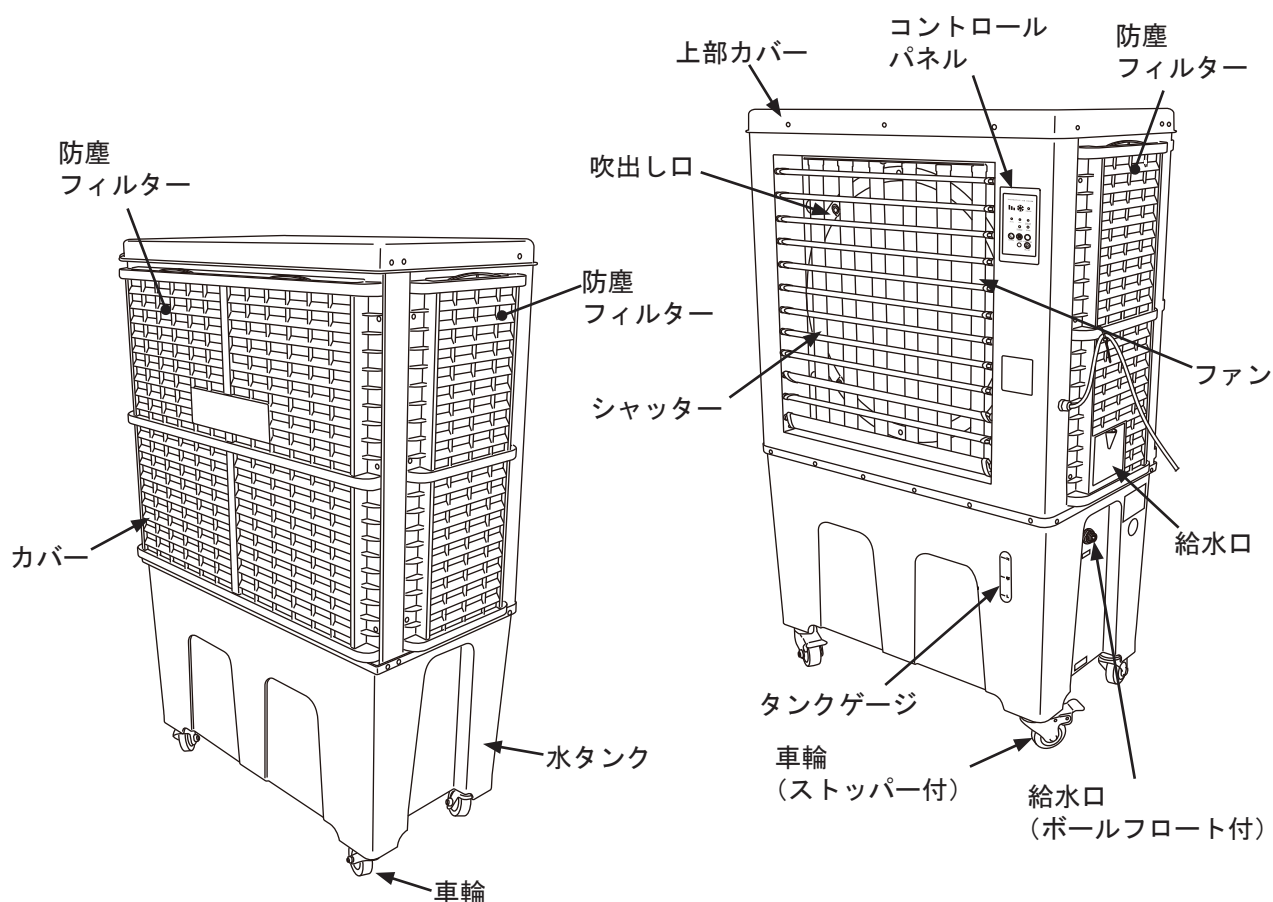
11. 改造の禁止

- 保障の適用外になりますのでメーカーに無断で改良しないで下さい。
- 冷風機の修理は弊社または販売店にご依頼ください。



第 2 章 各部の名称と仕様

2-1 外観

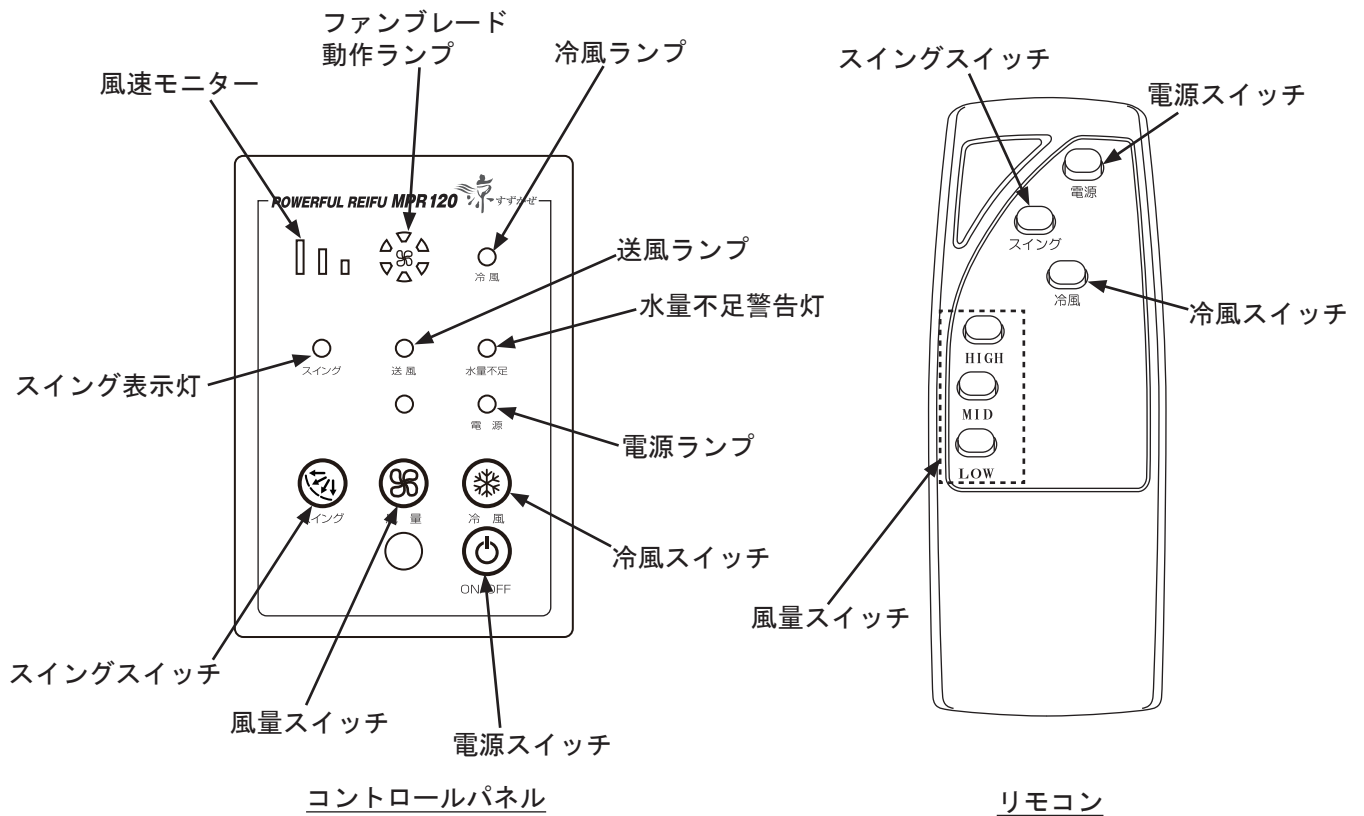


型 式		MPR120
電 源	(V)	単相 100
周 波 数	(Hz)	50/60
消費電力	(W)	310/399
風 量	(m ³ /min)	106/110
水蒸発量	(L/h)	8.7 (25°C、54%RH) / 9.5 (25°C、56%RH)
タンク容量	(L)	120
連続使用時間	(h)	13.8/12.6
給水方式		タンク貯水式 (自動給水可能)
安全装置		水切れ検知・モーター加熱保護
運転音 (騒音)	dB (A)	62/64
ファン径	(mm)	520
寸法 (幅×奥行×高さ)	(mm)	860 × 500 × 1380
本体重量	(kg)	42
風向・風量		上下手動・左右自動スイング、風量可変

注：仕様は予告なく変更することがあります。

※気化式冷風機の能力は使用環境の温度と湿度の影響を大きく受けます。

2-2 コントロールパネル、リモコン



第3章 各部の取扱い

3-1 コントロールパネル

電源スイッチ

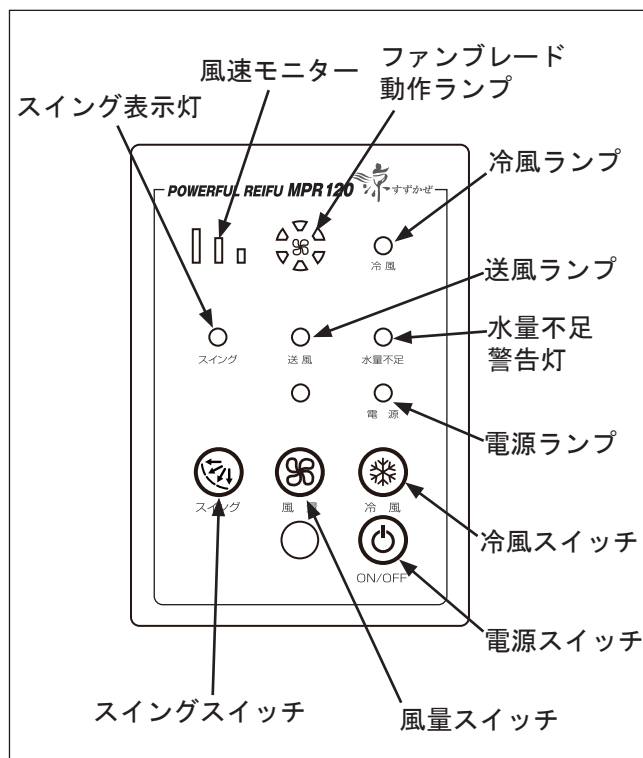
電源を接続すると電源ランプが点灯し電源スイッチを押すとファンブレード動作ランプと送風ランプが点灯し送風モードになります。

運転中に電源スイッチを押すと送風を停止し、ファンブレード動作ランプ、送風ランプが消灯します。

スイングスイッチ

送風モード、または冷風モードの時にスイングスイッチを押すとスイング表示灯が点灯し、風向きが左右にスイングします。

もう一度、スイングスイッチを押すとスイングが停止します。

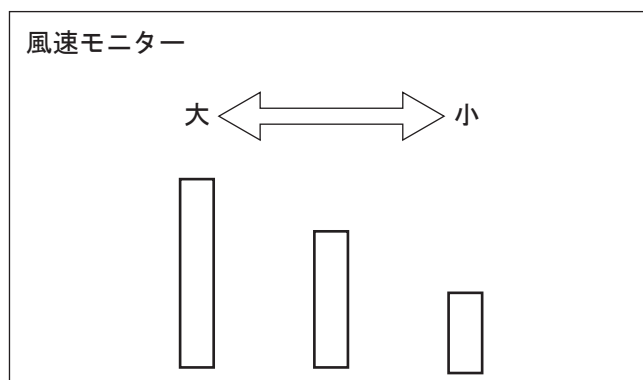


風量スイッチ

送風モード、または冷風モードの時に風量スイッチで風量を調整することができます。

風量スイッチを押すごとに、「弱→中→強」の順で風量を変えることができます。

風速モニターにより風量を確認することができます。



冷風スイッチ

送風モードで冷風スイッチを押すと冷風ランプが点灯し冷風モードになります。吹出し口からの風が冷風になります。

もう一度、冷風スイッチを押すと冷風ランプが消灯し送風モードになります。

▲ 注 意

タンクに十分な水がなくなると水量不足警告灯が点灯し、ブザーが鳴り、冷風モードから送風モードに自動的に切り替わります。

3-2 リモコン

電源スイッチ

リモコンの電源スイッチを押すとファンブレード動作ランプ、送風ランプが点灯し、送風モードになります。運転中に電源スイッチを押すと送風を停止し、ファンブレード動作ランプ、送風ランプが消灯します。

スイングスイッチ

送風モード、または冷風モードの時にスイングスイッチを押すとスイング表示灯が点灯し、風向きが左右にスイングします。

もう一度、スイングスイッチを押すとスイングが停止します。

冷風スイッチ

送風モードで冷風スイッチを押すと冷風ランプが点灯し冷風モードになります。吹出し口からの風が冷風になります。

もう一度、冷風スイッチを押すと冷風ランプが消灯し送風モードになります。

風量スイッチ

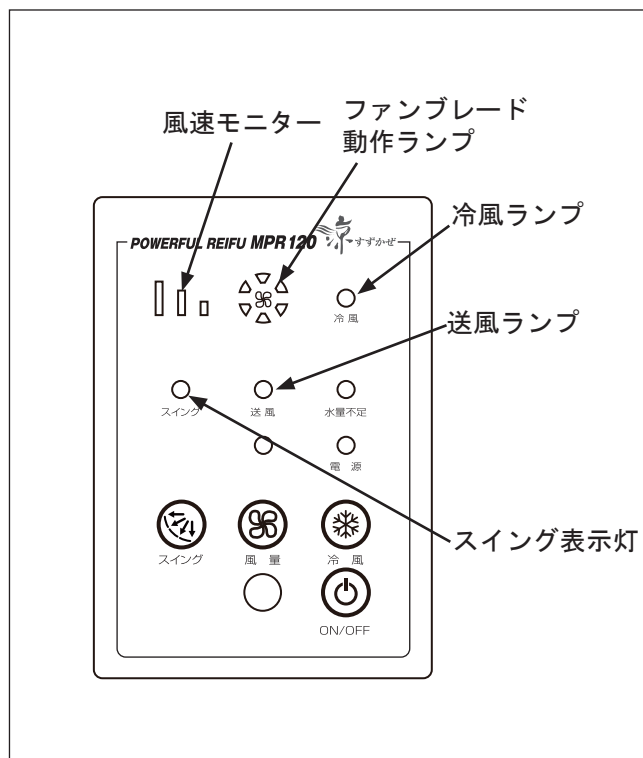
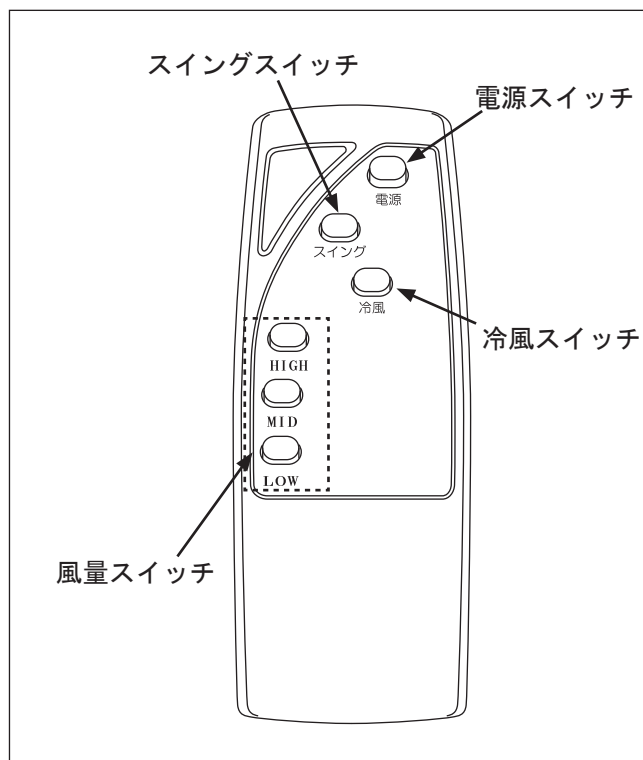
風量スイッチにより好みの風速を選択することができます。

HIGH : 風量「強」

MID : 風量「中」

LOW : 風量「弱」

選択した風量が風速モニターに表示されます。



第4章 運転の前に

⚠ 注 意

- ファンが破損、変形していないか点検して下さい。破損、変形している場合はファンを早急に交換して下さい。
- 冷風機を使用する時は
- 気温：2°C～45°C
 - 湿度：90%未満
 - 水温：0°C～45°C
 - 電圧偏差：10%未満
 - 腐食性のガスのない場所
- の条件下で使用して下さい。

4-1 設置

⚠ 警 告

- 爆発性の粉塵・酸・アルカリなどの腐食性ガスが発生、または発生の恐れのある場所では使用しないで下さい。
- 氷結するような場所では使用しないで下さい。
- 塵・埃の少ない場所で使用して下さい。
- 本体が安定するよう、設置する面に凹凸がなく、振動の影響を受けにくい場所に設置して下さい。
- 周辺に吸入されやすい物がなく、ファンの吸気を妨げる物がない場所に設置して下さい。
- コンセントから接続する場合はIEC33-1に準拠したコンセントを使用して下さい。

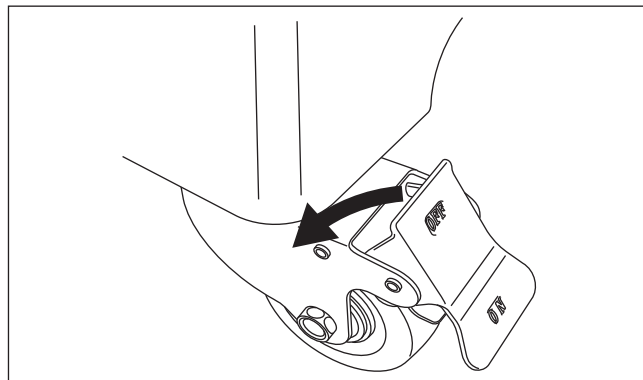
⚠ 注 意

- 冷風機を運転する時は必ず車輪のストッパーをかけて下さい。
- 傾斜のある場所に設置しないで下さい。冷風機が動き事故の原因になります。

- (1) 設置場所は凸凹のない水平な場所に設置します。
- (2) 車輪のストッパーをかけます。

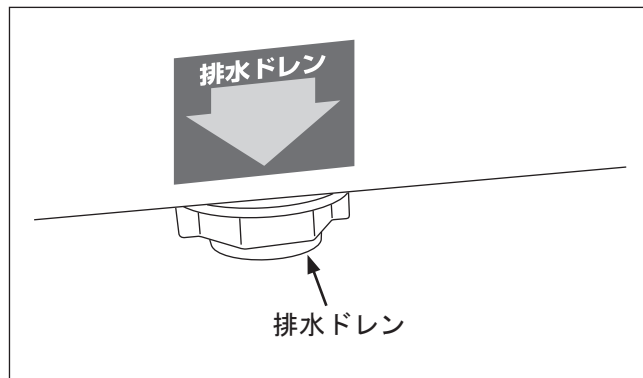
⚠ 注 意

冷風機を運転する時は必ずストッパーをかけて下さい。



4-2 給水

(1) タンク底部にある排水ドレンが閉まっていることを確認します。



(2) タンクに給水します。

⚠ 警告

- タンクの水量は常に点検して下さい。
- 使用する水は、水道水を使用して下さい。汚れた水を使用しないで下さい。

容器を使用する場合は本体右側の給水口を開けタンクのゲージの「HIGH」の目盛まで給水します。

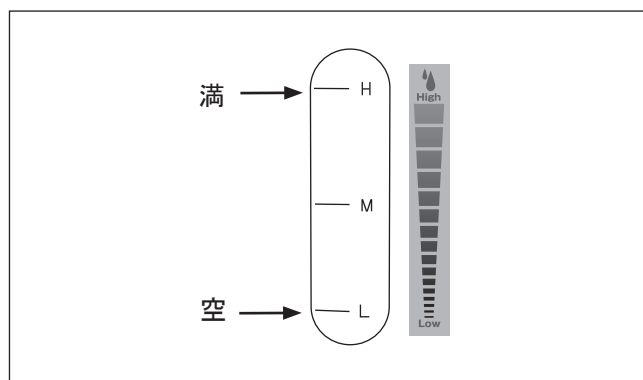
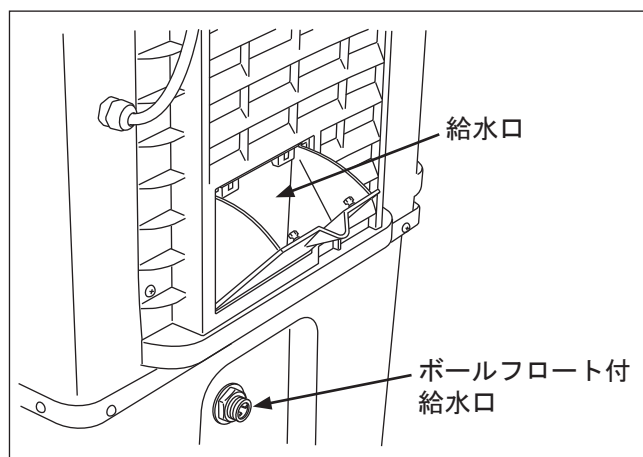
重 要

「H」の目盛以上に給水しないで下さい

自動給水をする場合はボールフロート付き給水口にホースを接続し水道の蛇口を開けたままにします。水量がタンクの目盛「M」の下あたりまでくるとタンク内のフロートが作動し、給水を自動的に停止します。

⚠ 注 意

- 0.15MPa ~ 0.6MPa の水圧で給水して下さい。
- 45°C以上の温度の水を使用しないで下さい。



(3) 排水ドレンから漏れがないか確認します。

第5章 運転

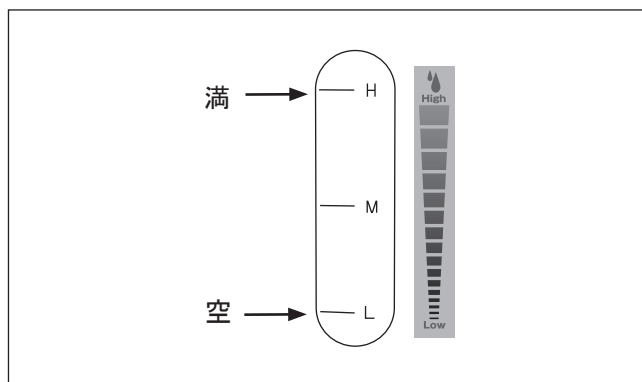
警告

- 冷風機を運転する時は車輪のストッパーを必ずかけて下さい。
- 必ずアースを接続して下さい。

注意

運転を開始する前にタンクに十分に水があることを確認して下さい。タンク内に水が十分でない状態で運転を開始すると水量不足警告灯が点灯します。

(1) タンクに十分な水があるか確認します。タンクに水がない場合はタンクに水をタンクの「HIGH」まで水をいれて下さい。



(2) 電源コードを接続すると電源ランプが点灯します。電源スイッチを押すと、送風ランプ、ファンブレード動作ランプが点灯し送風モードで、送風を始めます。

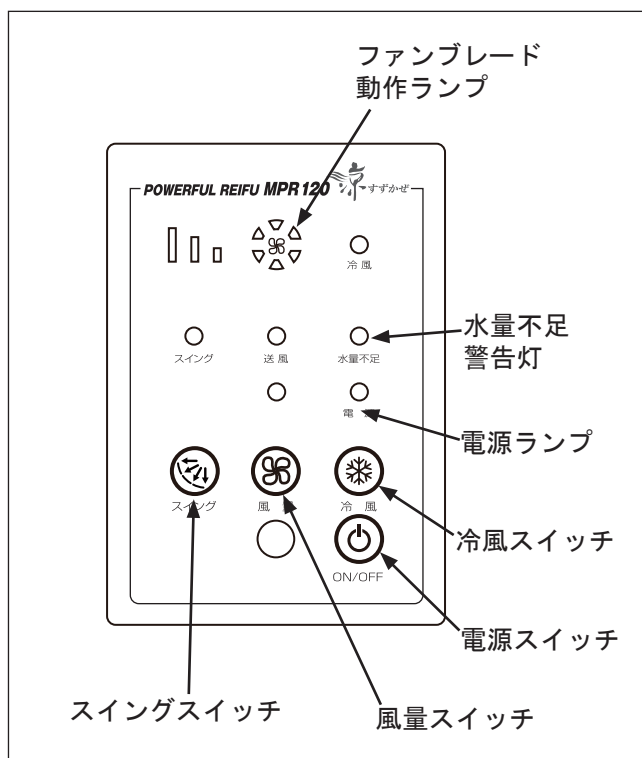
(3) 風量スイッチを押して風量調整します。

(4) 冷風スイッチを押すと冷風モードになり冷風を送風します。

注意

タンクに十分な水がなくなると水量不足警告灯が点灯し、ブザーが鳴り、冷風モードから送風モードに自動的に切り替わります。

(5) スイングスイッチを押すと送風の向きを左右にすることができます。

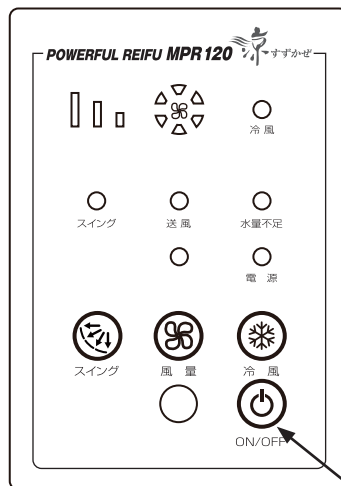


第6章 停止

電源スイッチ押すと冷風機が停止し送風が止まります。

⚠ 注 意

冷却エレメントを湿ったまま放置するとカビ、雑菌の発生の原因になります。



電源スイッチ

第7章 保守、点検

⚠ 警告

保守、点検を行う時は電源プラグを抜いて下さい。

⚠ 注意

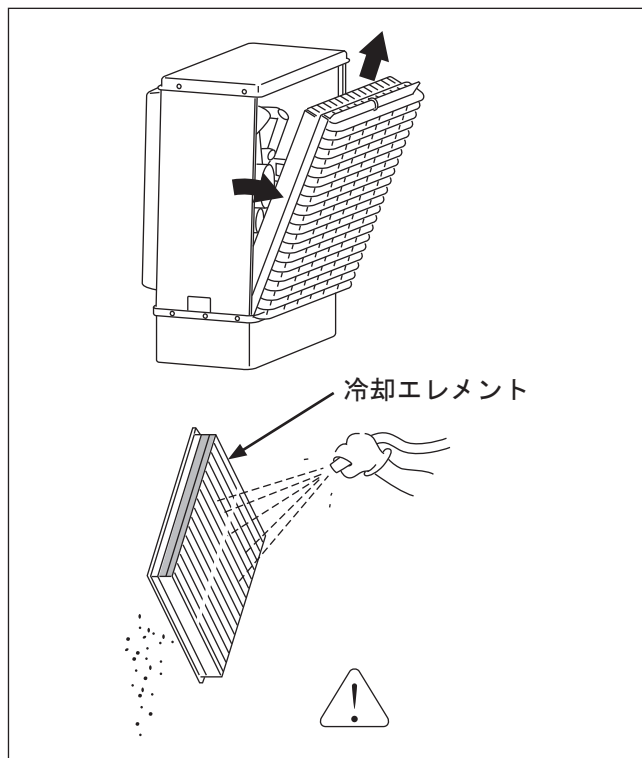
- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター冷却エレメントを掃除して下さい。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用して下さい。

7-1 冷却エレメントの清掃

- (1) 電源プラグを抜き、カバーのねじ6本を外します。
- (2) カバー上部を持ち、冷却エレメントを引き上げます。
- (3) 水道水で冷却エレメントを清掃します。

⚠ 注意

- 洗浄の水圧が高すぎないようにしてください。
- 冷却エレメントの洗浄には、酸性またはアルカリ性の洗剤は使用しないで下さい。



7-2 フィルターの清掃

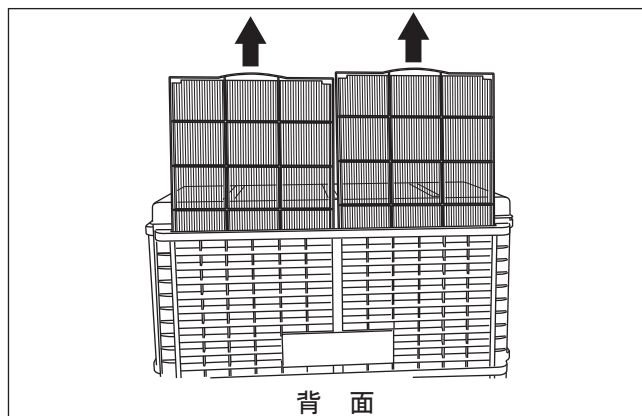
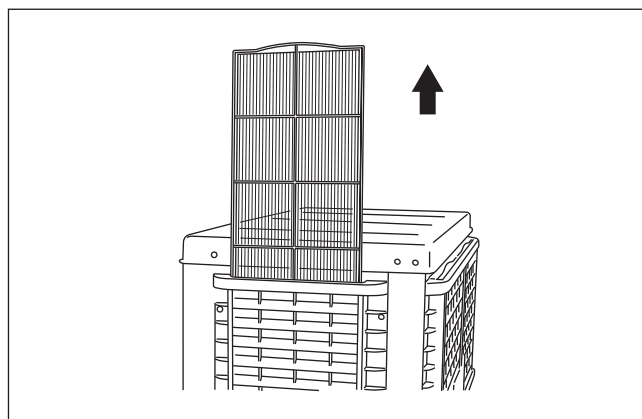
⚠ 注意

- 週に一度はフィルターを清掃して下さい。フィルターの目詰まりすると冷風機の故障や能力低下の原因になります。
- フィルターを取付ける時はフィルターの位置、方向に注意して下さい。

- (1) フィルターを手で引抜きます。
背面：2か所
左右：各1か所
- (2) 水道水でフィルターを清掃します。

⚠ 注意

- 洗浄の水圧が高すぎないようにしてください。
- フィルターの洗浄には、酸性またはアルカリ性の洗剤は使用しないで下さい。



(3) 水分を十分に取除いてから元のとおりに取り付ます。

⚠ 注 意

- フィルターを取付ける時はフィルターの位置、方向に注意して下さい。
- 右側面のフィルターの脱着は吸水口を開けて行って下さい。閉じたままの脱着はフィルター吸水口の破損の原因になります。

7-3 タンクの洗浄

- (1) プラグを抜き、カバーのねじを外し、カバーを取り外します。
- (2) 底部の排水ドレンを手で開きタンク内の水を排出します。
- (3) 柔らかい布またはブラシでタンクを洗います。
- (4) 湿らせた布で水量センサーの汚れを落とします。
- (5) ブラシでポンプとフィルターの汚れを落とします。

7-4 カバーの清掃

カバーが汚れたときは低刺激の洗剤と柔らかい雑巾で清掃して下さい。

⚠ 注 意

泡の立つ洗剤や揮発性溶剤、硬いブラシを使用しないでください。
誤った洗い方をすると冷風機が損傷することがあります。

7-5 ヒューズの交換

電源スイッチをONにしても冷風機が作動しない時や運転中に停止した時はヒューズが断線していないか点検してください。

ヒューズが断線している時は規格にあったヒューズと交換してください。

ヒューズ規格

サイズ：φ 5.2 × 20 mm

電 圧：AC250V

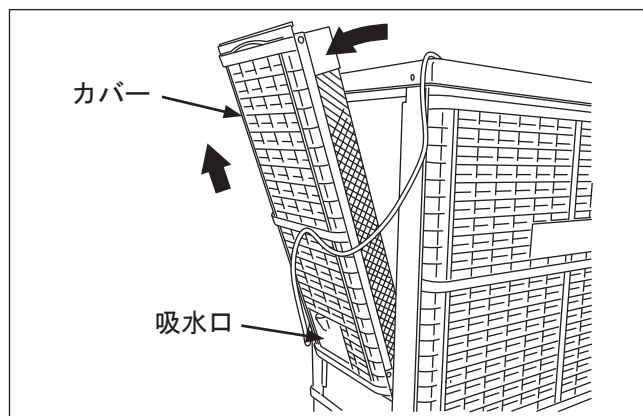
電 流：8A

ヒューズの交換手順

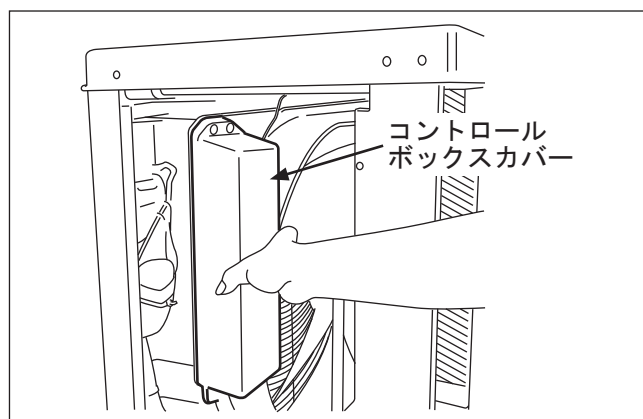
⚠ 警告

- ヒューズの交換や電装品の点検をする時は電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズの交換や電装品を点検する時は濡れた手で作業をしないでください。感電や冷風機の故障の原因になります。
- コントロールボックス内に水がかからないようにしてください。感電や冷風機の故障の原因になります。

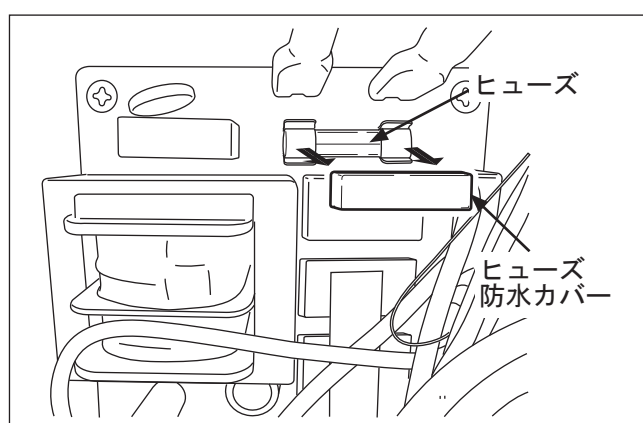
(1) 吸水口のある側のカバーのネジ（6か所）を取外します。カバーを上側に持ち上げてからカバーを取り外します。



(2) コントロールパネルの裏側にあるコントロールボックスカバーの上下にあるネジをはずしてカバーを取外します。



(3) コントロールボックスにあるヒューズ防水カバーを取外しヒューズを交換します。
ヒューズを交換後、防水カバーを元にとおりに取付ます。



第 8 章 保管

⚠ 注 意

- 長期間にわたり保管される場合は、屋内で温度変化の少ない乾燥した場所で保管して下さい。
- 本体に異物が侵入しないようにカバー等で覆って下さい。

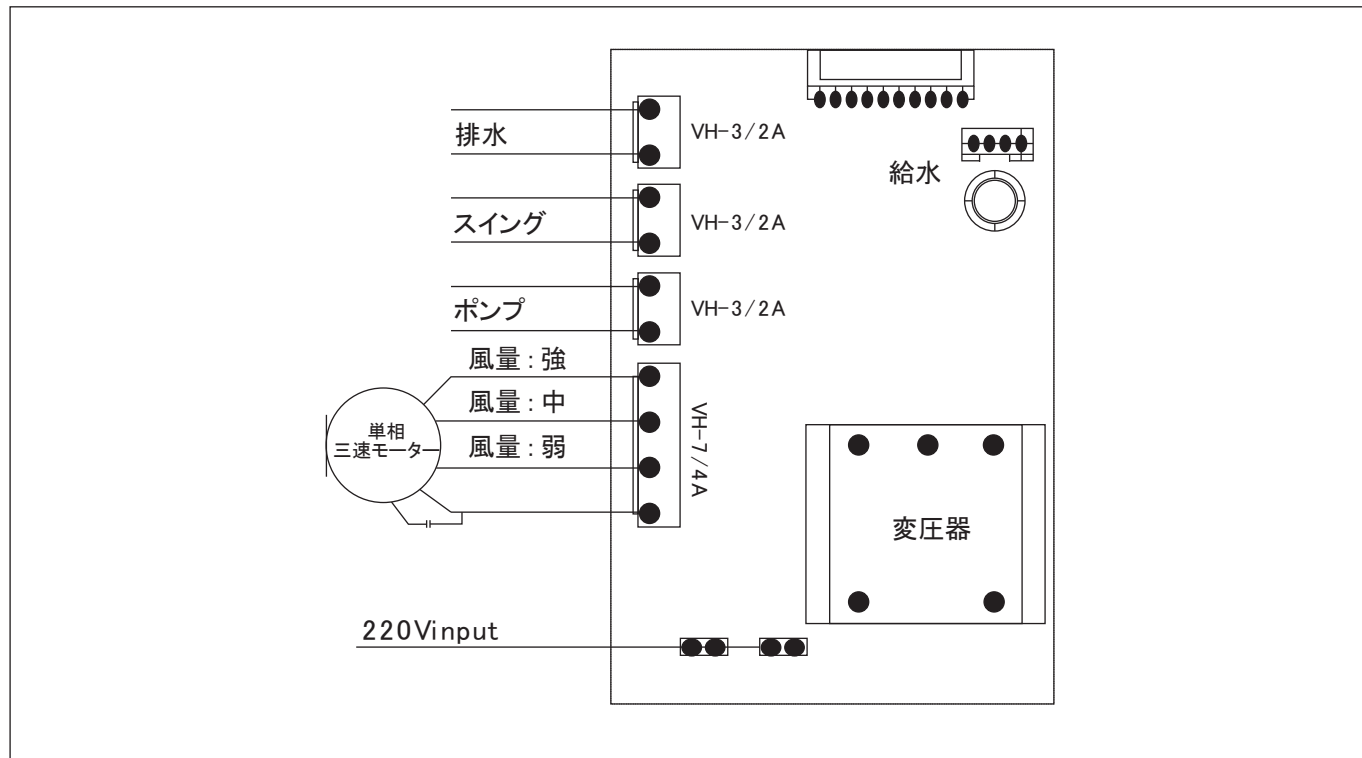
冷風機を保管する時はタンクから水を完全に抜き取り、送風モードで1時間以上運転し冷却エレメントが完全に乾いてから保管して下さい。

第9章 トラブルシューティング

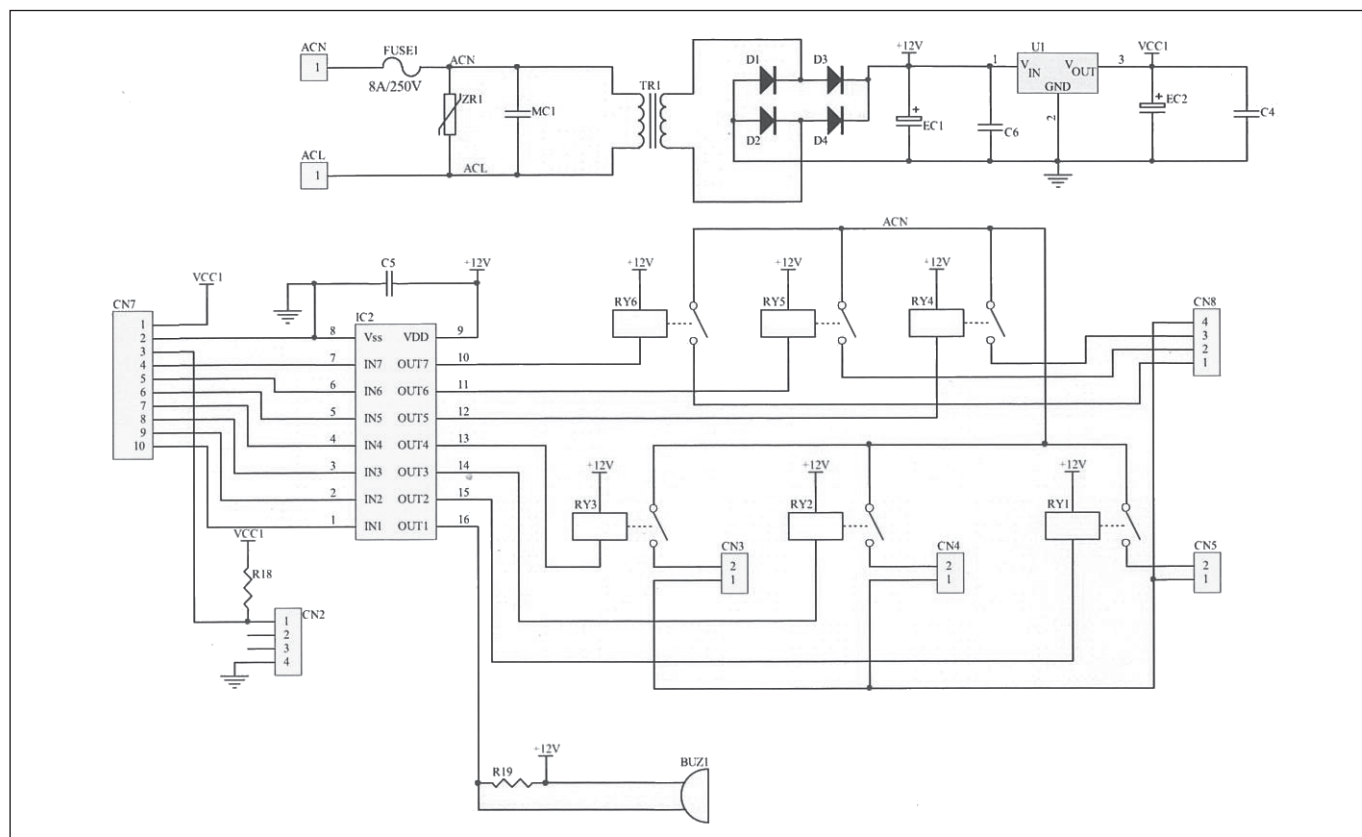
症 状	原 因	解決方法
A. 電源の ON/OFF ができない	a. 電源に接続されていない b. コントロールパネルの故障 c. ヒューズが断線している	a. 電源プラグを点検してください。 b. コントロールパネルを交換してください。 c. 新しいヒューズに交換して下さい。
B. 頻繁にヒューズが飛ぶ	a. ポンプの故障	a. 新しいポンプに交換して下さい。
C. 水が漏れる	a. 機械が傾いている b. タンクの水漏れ c. 排水ドレンのナットがゆるんでいる	a. 機械を水平な場所に移動させて下さい。 b. タンクを修理してください。 c. 排水ドレンのナットを締めて下さい。
D. 大きな音がする	a. ファンブレードの汚れや変形、破損 b. 吸気口または送風口に異物がある c. モーターが劣化している	a. ファンブレードの掃除または交換を行ってください。 b. 吸気口または送風口を掃除してください。 c. モーターを交換してください。
E. 風が出ない、または弱すぎる	a. 冷却エレメントまたはフィルターの目詰まり b. ファンが作動していない、または回転が遅い	a. 冷却エレメントとフィルターの掃除または交換を行ってください。 b. モーターが故障していないか確認してください。
F. 冷風にならない	a. タンクの水が少なすぎる b. 水量制御システムの故障 c. ポンプの故障 d. コントロールパネルの故障	a. タンクに水を足してください。 b. 水量センサーを点検してください。 c. ポンプを点検してください。 d. コントロールパネルを交換してください。
G. タンク内やフィルターに白いものが付着する	a. 水の硬度が高すぎる	a. 洗浄回数を増やしてください。

第 10 章 配線図

HPR120



回路図



パワフル冷風機 MPR120 保証書

本保証書は日本国内のみ有効です。 This Warranty is valid only Japan

お客様の正常なご使用において万一故障が発生した場合は、当保証書記載の規定により、無償で交換または修理させていただきます。

- 保証期間内（お買上げ日より6ヶ月間）に正常なご使用状態において万一故障が発生した場合は、無償で交換または修理させていただきます。その際はお買上げの販売店にご連絡下さい。
- 次のような場合には保証期間内の故障でも有償とさせていただきます。（郵送料等諸掛りはお客様のご負担となります。）
 - 本保証書にお買上げ日及び販売店名の記入・捺印が無い場合。
 - 誤用・乱用及び取扱不注意、取扱説明書の禁止事項による故障又は損傷の場合。
 - 弊社指定の販売店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
 - 火災・地震・水害及び盗難等の災害・不適切は移動・落下などの場合。
 - 使用中に生じたキズ・汚れなどの外観上の変化、ガソリン・エンジンオイルなどの汚れ。
 - 付属品の交換。
 - 原因が本製品以外に起因する場合。
 - 本保証書の指示がない場合及び必要事項の記入が無い場合。

製品名	MPR120	本製品番号	
お客様	ご住所 〒		
	ご氏名		
お買上げ日	年 月 日	保証期間	お買上げ日より6ヶ月間
販売店	ご住所 〒		
	ご氏名		

本保証書は製品番号、お買上げ日、販売店の記載がない場合は、無効とします。

必ずご確認ください、記入なき場合はお買上の販売店にお申し出下さい。

この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償で交換又は修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

